

## 行政視察報告

(会派 公明党 )

### <視察目的>

安来市議会島根原子力発電調査特別委員会の一員として今までに再稼働した国内の原子力発電所の視察には行きましたが、使用済み核燃料の処理はどのようにされているのか、とても関心を持っていました。今回、議会運営委員会の皆さまが六ヶ所村の視察をされると伺い、ぜひとも学びたいとの思いから私の会派視察として一緒に参加させていただきました。

### <視察概要一覧>

視察月日	視察・研修先	視察内容
8/21	青森県上北郡六ヶ所村 日本原燃六ヶ所村原子燃料再処理施設	原子燃料再処理施設の現地の状況について

### <所 感>

六ヶ所再処理工場は、日本の原子力発電所で使用され終わった使用済み核燃料を集め、その中から核燃料のウランとプルトニウムを取り出す再処理工場であるが、まず、施設内に入って思ったことは、敷地内の広大さと日本の最北端の地である六ヶ所村がよくぞ使用済み核燃料施設の建設を承諾されたと、感慨深いものがありました。

視察内では絶対に事故があってはならないし、人的ミスも許されない状況の中で、施設関係者は仕事をされています。

現在、日本は、福島原発事故から、ほとんどの施設が停止状況にあります。以前のように全施設が稼働していけば当然この六ヶ所村の施設はフル稼働していきます。しかし、厳格な管理のもと、気が遠くなるような歳月をかけ、完全に処理していくわけですが、30年、また完全に土をかけて完結するまでに300年かかるとの話に、日本の原子力発電に対する思いが並のものではなく、完全に安全で安心なものであるとの自信に満ちたものであったと思います。

しかし、福島の事故からその思いは消えてしまいました。今後再稼働するにしても、停止のままにするのも、核燃料は厳然として存在するので、それらは必ず最後は処理されなければならない、きちんと責任もって完結しなければなりません。

ん。

ひとたび作られた原子燃料を今後人から人へきちんと伝え、未来にわたって、二度と事故を起こさず、失敗も許されない、慎重なうえにも慎重に処理が行われていかなければならないと祈るような思いで今回の施設見学をさせていただきました。

原子力発電については将来どのように対応していくのか。

まだまだ課題は多いと実感します。

とても勉強になった視察でした。